

委託訓練カリキュラム

訓練科名		言語聴覚士資格コース		就職先の 職務・仕事	病院・施設などの言 語聴覚士
訓練期間		令和2年4月1日～ 令和4年3月31日（24か月）			
受講生の条件		4年制大学卒業以上			
訓練目標		厚生労働大臣指定の言語聴覚士養成課程のカリキュラムを中心に、座学での知識と実践に即した言語療法にかかる技術や知識を習得する。			
仕上がり像		言語聴覚士資格（国家資格）を有する専門的な人材として、医療・福祉・保健の現場において、正職員として就職して活躍できる人材。			
科目 区別	教育 内容	形態	科目の内容	科 目	時 間
専門 基礎 科目	基礎医学	講義	医学の発展・本質・倫理、 ヒトの構造機能、疾患の成り立ち	医学総論、解剖学、 生理学、病理学	112
	臨床医学	講義	一般内科の臨床疾患、小児疾患、精神障 がい、各種疾患のリハビリテーション、耳鼻咽喉科疾 患、 神経疾患発生メカニズム、形態機能喪失再建術	内科学、小児科学、精神医学、 リハビリテーション医学、耳鼻咽 喉科学、臨床神経学、形成外科学	184
	臨床歯科学	講義	口腔領域の解剖及び生理・病態	臨床歯科医学・口腔外科学	28
	音声・言語・ 聴覚医学	講義	呼吸器機能・疾患の診断及び治療法、 聴覚系機能・構造・病態の概要、 神経組織の基本構造と病態の理解	呼吸発声発語系構造・機能・ 病態、聴覚系構造・機能・病 態、神経系構造・機能・病態	84
	心理学	講義	心理臨床的援助方法理解、医療臨床的視 点の人間発達、行動や思考理解、デー タの適切な理解と活用	臨床心理学、生涯発達心理学、 学習・認知心理学、心理測定法	120
	言語学	講義	ことばの背景に潜む規則や制約	言語学	30
	音声学	講義	音声学と音声器官・音韻論の関係	音声学	30
	音響学	講義	音の物理解析、音声生成原理、音の心理 物理学	音響学、聴覚心理学	56
	言語発達学	講義	言葉の獲得メカニズムと発達の道筋	言語発達学	28
	社会福 祉・教育	講義	社会保障の機能役割、言語聴覚士法他職 種法規理解、リハビリテーション理念と 対象、理学作業療法の概要、障がい当事 者と関わる技術の実際	社会保障制度、関係法規、 リハビリテーション概論、 理学療法概論、作業療法概 論、社会福祉・教育概論	168
専門 科目	言語聴覚障 がい学総論	講義・ 実技	言語聴覚療法の流れ、 検査の成り立ち理解と適切な実施、 言語聴覚障がいの評価・診断	言語聴覚障がい概論Ⅰ～ Ⅱ、言語聴覚障がい総論Ⅰ ～Ⅲ、言語聴覚障がい診断 学	168
	失語・高次脳 機能障がい学	講義	失語症・高次脳機能障がい理解と評価・診 断・訓練法	失語症Ⅰ～Ⅳ、 高次脳機能障がいⅠ～Ⅱ	168
	言語発達障 がい学	講義	様々な言語発達の概要・評価・支援	言語発達障がいⅠ～Ⅵ	168
	発声発語・ 嚥下障がい学	講義	発声機能障がいとリハビリテーション、デ ィバイスと器質・機能性構音障がい、摂食嚥下障 がい理解とリハビリテーション、吃音の問題の理解 と対応	音声障がい、構音障がいⅠ ～Ⅳ、嚥下障がいⅠ～Ⅱ、 構音・嚥下障がい学、吃音	252
	聴覚障がい 学	講義	新生児・乳幼児の聴覚障がいと療育、 「聞こえ」のしくみ理解と支援、補聴援 助、二重障がいの理解、拡大・代替コミュニ ケーション	小児聴覚障がいⅠ～Ⅱ、成人 聴覚障がいⅠ～Ⅲ、補聴器・人 工内耳、視覚聴覚二重障がい	196
	臨床実習	実技	全体像を把握し、様々なコミュニケーション障 がいの症状評価に基づいた訓練計画を立案す る	臨床実習Ⅰ～Ⅱ	480
その他科目		講義	安全衛生	安全衛生	3
		講義	働くことの基本ルール	働くことの基本ルール	3
		講義	国家試験対策	国家試験対策	60
就職支援		講義	キャリア形成の考え方	キャリア形成論	30
		実技	面接指導、対人スキル向上	キャリアカウンセリング	30
訓練時間総合計 2,398時間					
学科 1,744時間		実技 594時間		就職支援 60時間	